

6年生より

6年担任 窪木亜希子

移動教室の代替行事として、6年生は2月17日(水)にスカイツリータウンに行きました。通常の遠足や社会科見学では、一つ一つの施設で過ごす時間がだいたい決められていて、その時間の中でグループ行動を行います。しかし、今回は子供たちが本当に楽しみにしていた移動教室の代替行事ということもあって、少しでも今までの校外学習にはない特別な経験をさせてあげたいと思い、東京スカイツリーに上る時間やすみだ水族館に入館する時間以外は、グループごとに散策の計画を自由に立てられるようにしました。お土産を買ったり、フードコートで自分でご飯を注文して食べたりしたことも、校外学習では新たな取組でした。計画の段階から、子供たちは本当に楽しそうでした。タブレットを使って、お土産を買う店やフードコートで何を食べるかを一生懸命調べていました。

自由な時間が多かった今回の校外学習。楽しかった分、きっと子供たちは“自由”であることの難しさも学んだことと思います。限られた時間の中でみんなが行きたい場所に行くために、時には自分の意見を譲って友達の意見を優先させたり、広い施設の中、時間を見ながら動いたり…。違う意見同士折り合いをつけることも、時間を守るために先の見通しをもつことも、これから生きていく上で必要な力です。今回の校外学習を通して、最高の思い出と共にこれらの経験が今後の子供たちの力になってくれたらと願っています。

3年生より

3年担任 松尾あづみ

例年に比べて校内での学びの場面が増えましたが、新たな出会いにも恵まれ、興味・関心が大きく広がる学校生活を過ごしてきました。例えば、総合的な学習の時間「大好き、赤坂の町」では、友達の紹介をきっかけに自分の知らない「赤坂の町のよさ」に気付き、iPadで調べを進め、実際に見学にうかがわせていただくことで、実物に触れたり直接お話をうかがったりできる面白さも味わうことができました。また、学年の仲間に向けた発表会では、グループごとの工夫が光りました。現在は3年生もまとめの時期に入り、下級生に紹介するための「世界友達プロジェクト～パラリンピックって何?～」に続き、「大好き赤坂の町3 安全マップ作り」と、好奇心をもって学習を進めています。

毛筆をはじめとして、練習を継続することで自分たちの成長を味わえる機会も多くありました。「短縄」の取組では、秋に「ジャンピンググローブグランプリ」を開き、クラスごとの演技を見合ったり、感想を伝え合ったりできました。また、さらに難度の高い技を克服する姿、跳べる回数が増えて喜ぶ姿が日常的に見られ『なわとび回転ずし掲示板』には、たくさんの3年生の名前が並んでいます。加えて「長縄」の取組などを通して、仲間と力を合わせて目標へ向かう気持ちもぐんと高まってきました。

誰にでも得意なことがあり、苦手なことがある。その中で、一人じゃないからできること、声を掛け合い、楽しく学び合える学校生活のよさを存分に味わいながら、進級の時を迎えてほしいと思っています。

研究について

研究主任 高橋晶子

今年度の校内研究は「論理的思考を高める算数授業の追究」という主題で行いました。答えを求めるだけでなく、「どうしてそう考えたのか?」を言葉に加えて算数科ならではの表現方法である式や図・表・グラフ等と結び付けて思考し、説明できることを目指しました。

5年生、4年生の習熟度別クラスと1年1組で研究授業を行い、1月には講師の都留文科大学の滝井章先生による師範授業を4年2組で行いました。

普段の授業でも自分の考えを伝え合ったり、友達と考え合ったりすることで表現する機会を増やしました。その成果として自然に「なぜかというところ…」と自分の考えを説明する姿が見られるようになりました。論理的に思考することは、これからの世の中で求められる力だといわれています。思考したことを整理して自分の言葉等で説明できることは理解を深めるだけでなく、聞いてもらえる、一緒に考え合える、自分とは違う考えに出会える喜びがあります。これからも思考し表現できる喜びを感じられるような授業を行っていきます。